

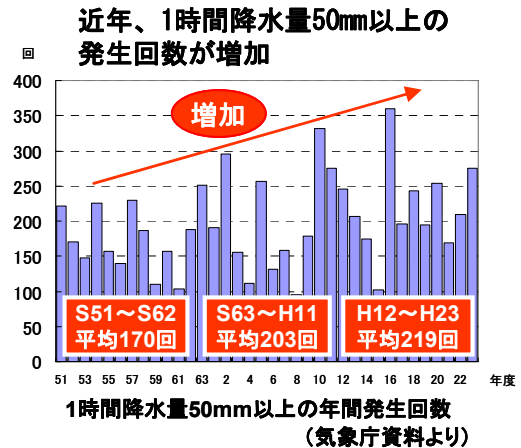


総合的な浸水対策の支援

～ 効率的・効果的な都市の浸水対策を推進 ～

1. 背景

都市に降った雨水（内水）の排除は下水道の基本的な役割であり、近年、下水道の計画を越える集中豪雨等により頻発する都市型水害から人命・財産や都市機能を守るために、ハード・ソフト両面からの総合的な浸水対策が求められています。



2. 内容

JSは「下水道浸水被害軽減総合計画」策定などの計画段階から、ポンプ場、雨水調整池等の設計、建設にいたる全ての段階で地方公共団体の浸水対策を支援します。

①雨水整備計画の策定

全体計画や事業認可等、各段階における雨水整備計画の策定に加え、「下水道浸水被害軽減総合計画」等、国の新たな施策に対応した計画の策定を支援します。

②雨水対策施設の整備

雨水排除のための管渠・ポンプ場の設置・能力増強や、雨水調整池等の雨水貯留施設の整備を支援します。

支援事例 1

坂戸、鶴ヶ島下水道組合 全体計画(雨水)見直し 及び大谷川雨水ポンプ場建設

1. 支援の背景

首都圏の郊外居住地域として市街化が進展し、土地利用等が変化したため、流出係数等も含め全体計画を見直しました。

その結果、浸水被害が頻発している大谷川流域の内水を越辺川に放流する大谷川雨水ポンプ場を建設することとなり、実施設計・建設工事について JS で受託・支援をしております。



2. 施設概要 ・計画排水面積：2,097ha ・排水量：21m³/s (第1期 10.5 m³/s)

3. JS の支援概要

全体計画(雨水)の見直しを支援するとともに、大谷川雨水ポンプ場建設の支援を行い、平成20年度からポンプ場が稼動しております。

支援事例 2

福井市 下水道総合浸水対策緊急事業 支援

1. 支援の背景

平成16年7月の福井豪雨(時間雨量75mm:観測史上最大)により甚大な浸水被害を受けたことから、福井市では浸水対策事業を強化し、国庫補助事業である「下水道総合浸水対策緊急事業」の認定を全国で始めて受けました。



月見・みのり地区における浸水被害
(H16.7福井豪雨による被害)

2. 施設概要

福井市中心市街地内に点在する浸水被害地区に雨水ポンプ場(1箇所)、雨水貯留槽(2箇所)、雨水貯留管(10箇所)、雨水バイパス管(1箇所)の雨水浸水対策施設(計14箇所)を整備するものです。

3. JS の支援概要

平成17年度から雨水貯留槽、雨水貯留管、雨水バイパス管の設計および建設工事を受託し、平成21年度に供用開始しました。